

第4回 地震・津波に伴う水害対策技術検証委員会 議事要旨

平成24年5月9日(水) 13:00~14:30
東京都庁第一本庁舎33階 特別会議室 S6

1 出席者

山田委員長、古関副委員長、富田委員、藤間委員、
村松行政委員(代理出席)、石川行政委員(代理出席)、
飯塚行政委員、石山行政委員、黒住行政委員

2 議事

- ・ 東京都防災会議の被害想定について
- ・ 第3回委員会での主な意見と対応について
- ・ 提言(案)について

3 主な意見

○被害想定について

- ・ 行政として、対策に取り組んでいくには何らかの被害想定が必要であるが、防災というのはサイエンスであり、エンジニアリングなので、今後の情報や科学技術の進歩を常に取り入れて検討を続けてほしい。

○耐震対策について

- ・ 耐震照査においては、必要に応じて静的解析に加え動的解析も組み合わせると良い。
- ・ 施工段階において、さらに対策工法の技術検討を進められたい。

○提言(案)について

- ・ 専門家以外の人にもわかりやすいように、マグニチュードや震度の定義などを示すと良い。
- ・ 大型船舶の漂流等への対策については、今後の課題として認識しているということを提言に記載しておく方が良い。
- ・ 様々な被災シナリオが考えられるが、その中で対策の対象とするシナリオをどのように設定したのかを示したほうが良い。
- ・ 水門操作等について、各施設管理者が持つ既存ネットワークを相

互活用するとしたことや情報の共有化を図るとしたことは本委員会の一つの成果である。

4 その他

- 本日の意見を受け、提言(案)の内容を修正する。
- 今後の扱いについては、委員長と相談する。